

100 ヨハネの誤った熱意と分派的態度を叱るイエス



マルコによる福音書 9 : 38~41、ルカ 9 : 49~50

マルコによる福音書 9 : 42~50、マタイ 18 : 6~9、ルカ 17 : 1~2

ヨハネの誤った熱意（逆らわない者は味方） マルコによる福音書 9 : 38~41

38（性急で雷の子と呼ばれる）ヨハネがイエスに言った。

「先生、お名前を使って悪霊を追い出している者を見ましたが、わたしたちに従わないので、やめさせようとした。」→**分派意識（分派的態度）**、**特権意識（特権的態度）**

→雷の子ヨハネの性急な行動で、これ（→分派意識）は、救い主であるイエスの教えに反するものでした。

→悪霊や悪魔が様々な病気や心の病の原因であると見なされていた。イエスは十二弟子に悪霊に打ち勝つ権威を授けていた（マルコ 3 : 14~15、6 : 7）。

39 イエスは（寛容の気持ちを持って）言われた。「**やめさせてはならない。わたしの名を使って奇跡を行い、そのすぐ後で、わたしの悪口は言えまい。** 40 **わたしたちに逆らわない者は、わたしたちの味方なのである**（→ローマ世界の格言）。41 **はっきり言うておく。キリストの弟子だという理由で、あなたがたに一杯の水を飲ませ（もてなし）てくれる者は、必ずその報いを受ける。」**

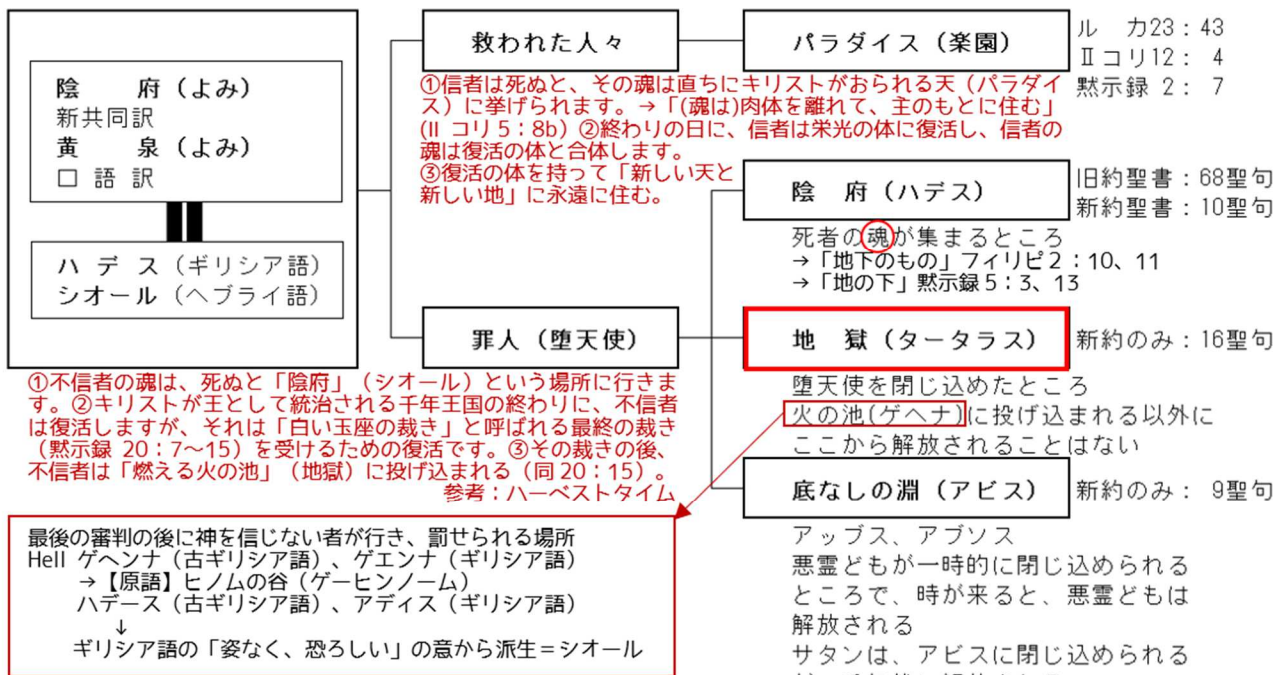
分派的態度を叱るイエス（罪への誘惑） マルコによる福音書 9 : 42~50

42「わたしを信じるこれらの小さな者の一人をつまづかせる者は、**大きな石臼を首に懸けられて、海に投げ込まれてしまう方がはるかによい。**

43 **もし片方の手（→行為の象徴）があなたをつまづかせるなら、切り捨ててしまいなさい。両手がそろったまま地獄（＝ゲヘナ）の消えない火の中に落ちるよりは、片手になっても命にあずかる方がよい。**



→イエスは手や目を失う肉体的な苦痛などは、地獄の火の苦しみとは比べものにならないほど軽いことを分かせたかった。新約聖書では、悪人の裁きの場は、火の中で苦しむ場所として描かれている（マタイ 5 : 22、ルカ 16 : 23~24、黙示録 20 : 14）。



ペトロの手紙 2 : 9

主は、信仰のあついで人を試練から救い出す一方、**正しくない者たちを罰し、裁きの日まで閉じ込めておくべきだ**と考えておられます。

44<底本に節が欠けている個所の異本による訳文>

地獄では蛆が尽きることも、火が消えることもない。†

45 もし片方の足 (→歩みの象徴) があなたをつまずかせるなら、切り捨ててしまいなさい。両足がそろったままで地獄に投げ込まれるよりは、片足になっても命にあずかる方がよい。

46<底本に節が欠けている個所の異本による訳文>

地獄では蛆が尽きることも、火が消えることもない。†

47 もし片方の目 (→欲望の象徴) があなたをつまずかせるなら、えぐり出しなさい。両方の目がそろったまま地獄に投げ込まれるよりは、一つの目になっても神の国に入る方がよい。

48 地獄では蛆が尽きることも、火が消えることもない。

49 人は皆、火で塩味を付けられる。

50 塩は良いものである。だが、塩に塩気がなくなれば、あなたがたは何によって塩に味を付けるのか。自分自身の内に塩を持ちなさい。そして、互いに平和に (和合して) 過ごし (暮らし) なさい。(そしてすべてのいけにえは塩で味がつけられる。→これは信仰のために苦しむことを言っている。)

→塩は食物の保存や味付けに使われた。

「火で塩味を付けられる」とは、弟子たちが清いままであり続けることを意味している。

「自分自身の内に塩を持ちなさい」とは、弟子たちが協力して生活するときに、どのように平和という風味を加えるかを示している。

→(レビ記 2:13) 穀物の献げ物にはすべて塩をかける。あなたの神との契約の塩を献げ物から絶やすな。献げ物にはすべて塩をかけてささげよ。

【参考】分派意識

- (1) 分派：セクト (Sect)→①既に認知・確立されている宗教の「分派」、
②思想的指導者のもとに集まった人たちの「集まり」。
- (2) 原因：不安感、他者を支配しようとする、自分たちの仲間でない意識

【参考】「寛容」を含む代表的な聖句

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 9 / 聖句等の総数 33250]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
S ローマの信徒への手紙	2:4 あるいは、神の憐れみがあなたを悔い改めに導くことも知らないで、その豊かな慈愛と寛容と忍耐とを軽んじるのですか。	
S ガラテヤの信徒への手紙	5:22 これに対して、霊の結ぶ実は愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、	
S ガラテヤの信徒への手紙	5:23 柔和、節制です。これらを禁じる掟はありません。	
S エフェソの信徒への手紙	4:1 そこで、主に結ばれて囚人となっているわたしはあなたがたに勧めます。神から招かれたのですから、その招きにふさわしく歩み、	
S エフェソの信徒への手紙	4:2 一切高ぶることなく、柔和で、寛容の心を持ちなさい。愛をもって互いに忍耐し、	
S エフェソの信徒への手紙	4:3 平和のきずなで結ばれて、霊による一致を保つように努めなさい。	
S コロサイの信徒への手紙	3:12 あなたがたは神に選ばれ、聖なる者とされ、愛されているのですから、憐れみの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。	
S テトスへの手紙	3:1 人々に、次のことを思い起こさせなさい。支配者や権威者に服し、これに従い、すべての善い業を行う用意がなければならないこと、	
S テトスへの手紙	3:2 また、だれをもそしらず、争いを好まず、寛容で、すべての人に心から優しく接しなければならないことを。	